つくいだより

令和８年 ７月　発行
神奈川県立津久井支援学校
学校だより　No.4

津久井支援学校の魅力

副校長として津久井支援学校に着任してから、早いもので3か月が経ちました。この間、児童生徒の元気なあいさつや笑顔、そして教職員や保護者の皆様の温かいご支援に支えられながら、充実した日々を過ごしています。

本校の魅力としてまず感じたのは、豊かな自然環境です。校舎の周りには緑が広がり、四季折々の変化を身近に感じることができます。（通勤の道中で蛇に遭遇！後ずさり💦）児童生徒は自然に触れながら学び、校内での学びや地域との協働した取組みの中でさまざまな気づきや発見を得て成長しています。この恵まれた環境は、本校の大きな財産だと感じています。

授業では、先日（6月 25 日(木)）全校集会を開きました。津久井やまゆり園事件から 10 年を迎えるにあたり、追悼行事で飾られる灯籠に全児童生徒が思いを込めて絵を描きました。本校では、地域とともにある学校として、一人ひとりの命や人権を尊重し、互いの違いを認め合いながら「ともに生きる」ことの大切さについて、全児童生徒・教職員で学びを深めました。今後も、人々が支え合い、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、地域とのつながりを大切にしながら教育活動を推進したいと強く感じたところです。

次に、本校の素晴らしさは教職員のチームワークにあります。一人ひとりの児童生徒に寄り添いながら、教職員が互いに協力し、知恵を出し合って教育活動を進めています。困ったときには自然に助け合い、子どもたちの成長を第一に考える姿勢に、日々心強さを感じています。

そして、忘れてはならないのが給食のおいしさです。栄養バランスはもちろんのこと、季節感や彩りにも工夫が凝らされており、子どもたちが毎日の給食を楽しみにしている様子が伝わってきます。私自身も、給食の時間を楽しみにしています。（ただいまワールドカップ⚽各国のメニューが給食に登場❣）

これからも、自然豊かな環境を生かし、地域と連携し、教職員のチームワークを大切にしながら、子どもたち一人ひとりが安心して学び、成長できる学校づくりを進めて行きます。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

副校長　堀野　史雄

6 月 25 日(木)体育館にて全体集会

絵本「みんなってだれのこと？」の読み聞かせがあり、一人ひとりの命の大切さや、お互いの違いを認め合いながら共に生きることについて考えました。その後、一人ひとりが想いをこめて灯篭の絵付けや色塗りを行いました。完成した灯篭は、７月 26 日に津久井やまゆり園で行われる追悼行事にて飾られます。はじめての全校集会でしたが、みんなで協力して活動することができました。





